

第2回常滑東小学校児童数増加に伴うあり方検討委員会

平成27年5月19日(火) 19:30～
於 中央公民館 会議室

1. 委員長あいさつ

2. 議事

1) 第1回検討委員会における意見・質問等について

2) 常滑東小学校の児童数増加に係る対応等について
(追加案を加えた意見交換) ※前回に引き続き協議します。

3. その他

※次回の開催予定日時・場所

第 1 回検討委員会における意見・質問等

No.	意見・質問	教育委員会の考え方	摘 要
1	人口推計について明確な数値を示してほしい。	住民基本台帳を基に、推計値を毎月更新する予定です。ただし、転入や出生がどれほどになるかは読み切れないところがあります。	
2	常中に余地があるのなら小学校を新設する案を加えてほしい。	現在、テニスコート等として使用している用地が約 7,600㎡あります。小規模な学校であれば、建設は可能ですが、敷地形状として東西方向の幅が狭く南北の校舎となるため、好ましくありません。また、運動場、プール、体育館等の施設の共用が可能かどうかなど、課題の整理が必要です。	資料 4 参照
3	プレハブ校舎は教室としてふさわしくないのではないかな。	プレハブと言っても最近の施設は割としっかりしており、少なくとも 10 年程は利用ができると思います。以前の福祉会館がプレハブでありましたので、イメージしていただければと思います。	資料 5 参照
4	国道 247 号線を渡り東小学校に通う児童数はどのくらいかな。	飛香台地区を含め国道 247 号線より東に住んでいる児童数は約 440 人です。東小の全児童数 513 人に占める割合は、約 86 パーセントです。	
5	東小の建替えを行うのであれば大型バスが入れる道も造ってほしい。	現在、マイクロバスの通行は可能です。大型バスが通行できる道路の築造は工法的に可能であると思いますが、予算の裏付けが必要となります。また、拡幅用地の取得も必要となります。	
6	案 1 の通学区域の変更は、組み替えれば現在の西小と東小の収容能力で将来的にも収容可能な状態であるかな。	現在の西小と東小の教室数は、それぞれ 31 教室と 27 教室です。西小には、これ以外にも形状としては普通教室として使用できる教室が 11 教室ありますが、これらは平成 25 年度の教室等改修工事の対象外でしたので、普通教室として利用するためには、多額の改修費※1がかかります。※2 また、平成 37 年度までの間において学級数が最大値となる平成 33 年度の西小・東小をあわせた児童数は推計上 1,759 人、必要教室数は、60 教室※3 であるため、単純計算では、改修工事を 2 教室行えば受け入れ可能となります。ただし、現在のように少人数学級等として使用するためにはより多くの教室の改修が必要となります。また、案 1 を進めるためには、通学区域を行政区の区割りを考慮せずに組み替えることが前提となります。 ※1 (H25 年度 16 教室の改修費約 3,000 万円) ※2 (窓の位置の変更、黒板の張り替え、ロッカーの改修が必要) ※3 (特別支援教室西小 4 学級、東小 3 学級を含む)	資料 3 参照
7	予測値と現在値の差が大きい、将来的に教室不足にならないようもっと安全な対策にしてほしい。教室が余れば高齢者が入る施設とするなど先まで考えて対応してほしい。	安全率を大きくとれば施設は大きくなります。結果、そこまで増えなかった場合、予算の無駄になります。これまでの増加傾向等を参考として、予測を行うことが現実的であると考えております。	
8	東小だけでなく、常中の将来予測も行ってほしい。	西小と東小の児童数の推移予測に基づき、常中の生徒数の推移予測を行った結果、平成 38、39 年度に 29～30 教室必要となります。現在の常中の教室数は 27 教室でありますので、2～3 教室不足する可能性があります。	資料 3 参照
9	プレハブ校舎の案について、その時の児童数に臨機応変に対応できるようなものがあれば紹介してほしい。	プレハブ校舎としては、構造上 2 階建てまでを想定しています。コンクリート構造の建築物と比較すると、建設・撤去がしやすいと思われます。	資料 5 参照

10	他の地区でもこういう問題があるのではないか。参考にすべき意見を集約してほしい。	市議会の付帯決議の中で、「市内小学校区の児童数の推移を推計し、小中学校ごとの児童数の推移を示すとともに、学校再配置に対する考えを示すこと。」という意見をいただいております。市内すべての小中学校において情報収集する予定です。 また、阿久比町の例として、ある企業による開発行為に伴い、ある小学校の児童数が一気に数百人増え、倍増しました。この課題に対応するため、平成24年度に地元区長、議員で検討委員会を作り協議が行われました。小学校敷地に余地があったため用地を手当てする必要はなかったようですが、平成27年度からの利用開始に間に合わせるため、鉄筋コンクリート造りではなく、プレハブ校舎により建築されております。	資料3参照
11	検討する内容について、こういった場合はこうなるなど、より詳しい情報を提示してほしい。	資料2に修正を加えました。また、資料1の中でより詳細な情報提供を行っております。	
12	工事中の交通安全等、周辺環境が心配である。	工事を行う際には、交通安全等、周辺環境等に細心の注意を払い施工します。	
13	通学区域の見直しは、子供たちの心のケアが心配である。	仮に、通学区域の見直しとなった場合は、教員やスクールカウンセラーが児童を注意深く見守ります。また、異変に対しては、早期の対応に努めます。	
14	以前の学校でプレハブ校舎のことを承知しているが、思っていたより良い環境であった。	(3と同様です。)プレハブと言っても最近の施設は割としっかりしており、少なくとも10年程は利用ができると思います。以前の福祉会館がプレハブでありましたので、イメージしていただければと思います。	
15	常中の通学路の安全対策を考えてほしい。	第1回検討委員会でのご意見を受け、翌日、常中に伺い、総合的な通学路の交通安全対策について今後も継続して、先生方と協議を行う事について確認しました。また、通学路の補修や見通しの確保のための草刈り等について、予算上可能な範囲で、道路管理者が対応することとしました。	
16	案4・5のデメリットは本当に間に合わないのか。 案3の大規模改修はいつごろ必要になるのか。 (案4：東小と常中を入れ替える。) (案5：旧常高を利用する。)	案4の場合たとえば、平成28年度に測量等現地調査、平成29年度に常中の校舎改修の設計、東小の武道場建築設計、平成30年度に常中の改修工事、東小で武道場建築工事を行えば工事上は間に合いますが、今年度中に保護者、関係者の方々の同意が必要です。 案5の場合たとえば、平成27年度に高校の払い下げの交渉、県議会での可決を行い平成28年度に、常校の耐震工事設計、改修設計、平成29年度に常校の耐震工事、設備改修工事、常中を東小にするための改修設計を行い、平成30年度に改修工事を行うとすると工事上は間に合いますが、県との交渉が長引けば、平成31年度には間に合いません。 案3の大規模改修は、東館だけでなく、校舎全体を対象に計画しております。老朽化が進んでおり、早期の対応が望ましいため、現在の予定では平成29年度に改修を行う予定としております。	必要な改修工事 常中→東小 階段の改修、黒板の高さ調節 東小→常中 特別教室(技術室)の整備 武道場の建設 常校→常中 耐震補強、老朽修繕
17	メリット・デメリットが少なすぎる。もっと意見があるのではないか。	資料2に修正を加えました。また、資料1の中でより詳細な情報提供を行っております。	
18	通学区域の変更で、東小から西小に移られた方の意見等、委員以外の保護者の方たちからの意見をどう吸い上げる予定ですか。	今後、西小及び東小の保護者に対する説明会を予定しております。その際にご意見等を伺う予定です。できれば、検討委員会の方々には、他の保護者の皆様のご意見を聴取し会議に臨んでいただけたらと考えております。	
19	市内全域を対象として、再配置・越境を考えてもよいのではないか。	市内の小中学校における今後の児童数・生徒数の推移を検証します。行政区域、コミュニティ等に影響ある事項でありますので、より多くの方々のご意見を伺いながら時間をかけて検討する必要があると考えております。	資料3参照

20	ピアゴのところに横断歩道橋を造ってほしい。	横断歩道橋の設置基準によれば、「現に信号機が設置されている交差点においては、特に不都合のない限り原則的には現在ある信号機を利用するものとする。ただし、横断者が著しく多いか、または広幅員の信号交差点において横断者が横断を完了するのに相当の時間を要するため、危険が予測される場合には、必要に応じ横断歩道橋を設置することができる。」ことになっております。国道247号線の管理者である愛知県知多建設事務所に横断歩道橋の新設の可能性について問い合わせを行った結果、「現在、歩道橋新設の計画はない。」との回答を得ております。また、仮に横断歩道橋を新設する場合でも、測量・設計・用地買収等の手順を踏んで進める事になり、数年で対応することは非常に困難であると考えております。	
21	常中の曲がりくねった道路をまっすぐにしてほしい。	現在のところ道路改修の計画はありません。	
22	6月の期限は短いのではないか。長ければ良いわけではないが、大事な事なので、もっと慎重に考えてほしい。	検討委員会における議論の推移を見ながら検討していきたいと考えております。	

常滑東小学校児童数増加対策案その 2

想定される対策案

対策案	方法	内容	メリット	デメリット	摘要
1	通学区域の変更	・東小と西小の通学区域を再度変更する。例えば、飛香台地区の1丁目から3丁目を西小へという案です。	・築造費が他の方法と比較し少なく済む可能性がある。 ・31年度に間に合う。	・コミュニティを分断する。 ・児童や保護者が混乱する。 <u>・飛香台地区の一部を西小の通学区域に編入する場合、東小付近を通過して通学することになり理解されにくいと思われます。</u>	
2	東小の東校舎の建て替え	・東小の特別教室のある3階建て東館を建替え、特別教室と普通教室をあわせた4階建ての新東館を建設する。	・築50年以上経過した校舎を新しいものにできる。 ・31年度に間に合う。	・築造費が大きい。	
3	プレハブ校舎建設	・東小のグラウンドの一部にプレハブ校舎を建設する。	・築造費は2の建替えより安価である。 ・31年度に間に合う。 <u>・エアコンの設置により室温は適温に保たれる。</u>	・ <u>プレハブ校舎建設による対応となった場合でも、東館を含めた既存の校舎の大規模改修が別途必要となる。</u> <u>・プレハブ校舎を建設するため、グラウンドの一部が使えなくなる。</u>	
4	東小と常中を入れ替える	・常中を東小にし、東小を常中にする。	・国道247号線を境に通学区域の変更を行えば、交通安全上、比較的安全となるのではないかと。	・中学校と小学校では施設の構造が異なり、階段、手洗い、黒板位置など校舎の改修や武道場などの体育設備の新築が必要となるため、経費がかさむうえ、移転作業が発生する。 <u>・改修中の仮設教室が必要となる。</u> ・通学区域の変更の必要も生ずる。 ・全事業費が大きくなる可能性あり。・31年度に間に合わない可能性がある。	
5	旧常高を利用する	・旧常高を借用若しくは売買により市の管理とした後、常中にし、常中を東小にする案。	・同上	・旧常校は県施設であり、交渉が必要である。・体育館は耐震性がなく、また、老朽化している。 ・現在使われていない校舎であり、老朽化も進んでいるため、いつまでもつかわからない。 ・31年度に間に合わない可能性がある。 <u>(資料1のNo.16に掲載した通り)</u>	
6	<u>常中の余地に小学校を建てる</u>	・ <u>常中の余地(テニスコート等)に小学校を建てる。</u>	・ <u>新しい校舎となる。</u>	・ <u>若干余地はあるが、土地の形状が南北に長く校舎の建築には不向きである。</u> <u>・多額の事業費が想定される。</u> <u>・体育館、グラウンド、プール等を小中学校で共用することになることについての課題の整理が必要である。</u>	資料 4 参照
7	<u>飛香台地区に小学校を新築する</u>	・ <u>例えば、飛香台周辺の山を開発し小学校を新築する。</u>	・ <u>快適な環境が得られる。</u>	・ <u>多額の事業費が想定される。市の財政状況からみてきわめて可能性が低い。</u> <u>・用地取得から始めることになり、施設の完成までの期間からみて平成31年度には間に合わない可能性が非常に高い。</u>	

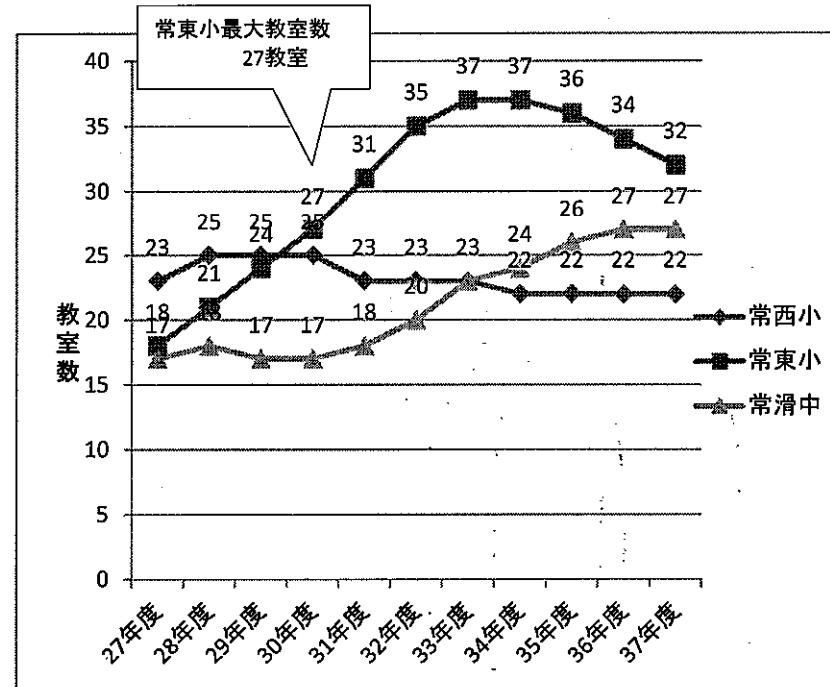
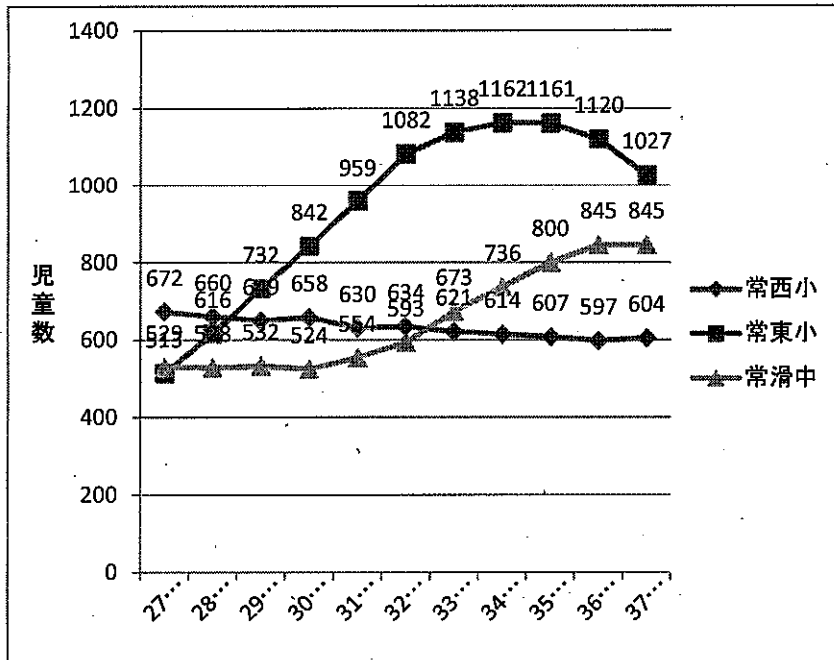
※前回からの変更(追加・修正等)点をアンダーラインで表示しました。

常滑地区小中学校の児童生徒学級数の推移予測と市内他校の児童・生徒・学級数の推移予測

資料3

H27.5現在

		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度	36年度	37年度	38年度	39年度	教室数
常西小	児童数	672	660	649	658	630	634	621	614	607	597	604			42(31)
	学級数	23	25	25	25	23	23	23	22	22	22	22			
常東小	児童数	513	616	732	842	959	1082	1138	1162	1161	1120	1027			27
	学級数	18	21	24	27	31	35	37	37	36	34	32			
小学校計	児童数	1185	1276	1381	1500	1589	1716	1759	1776	1768	1717	1631			69(58)
	学級数	41	46	49	52	54	58	60	59	58	56	54			
常滑中	生徒数	529	528	532	524	554	593	673	736	800	845	845	899	927	27
	学級数	17	18	17	17	18	20	23	24	26	27	27	29	30	



H27.5現在

青海地区

		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度	36年度	37年度	教室数
三和小	児童数	197	194	191	197	178	172	163	162	160	156	169	12
	学級数	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	
大野小	児童数	245	241	241	238	232	219	225	222	209	197	187	20
	学級数	12	11	11	11	11	11	11	11	9	8	8	
青海中	生徒数	241	232	232	221	230	221	219	203	209	215	208	12
	学級数	9	10	10	9	9	8	8	8	9	9	8	

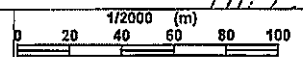
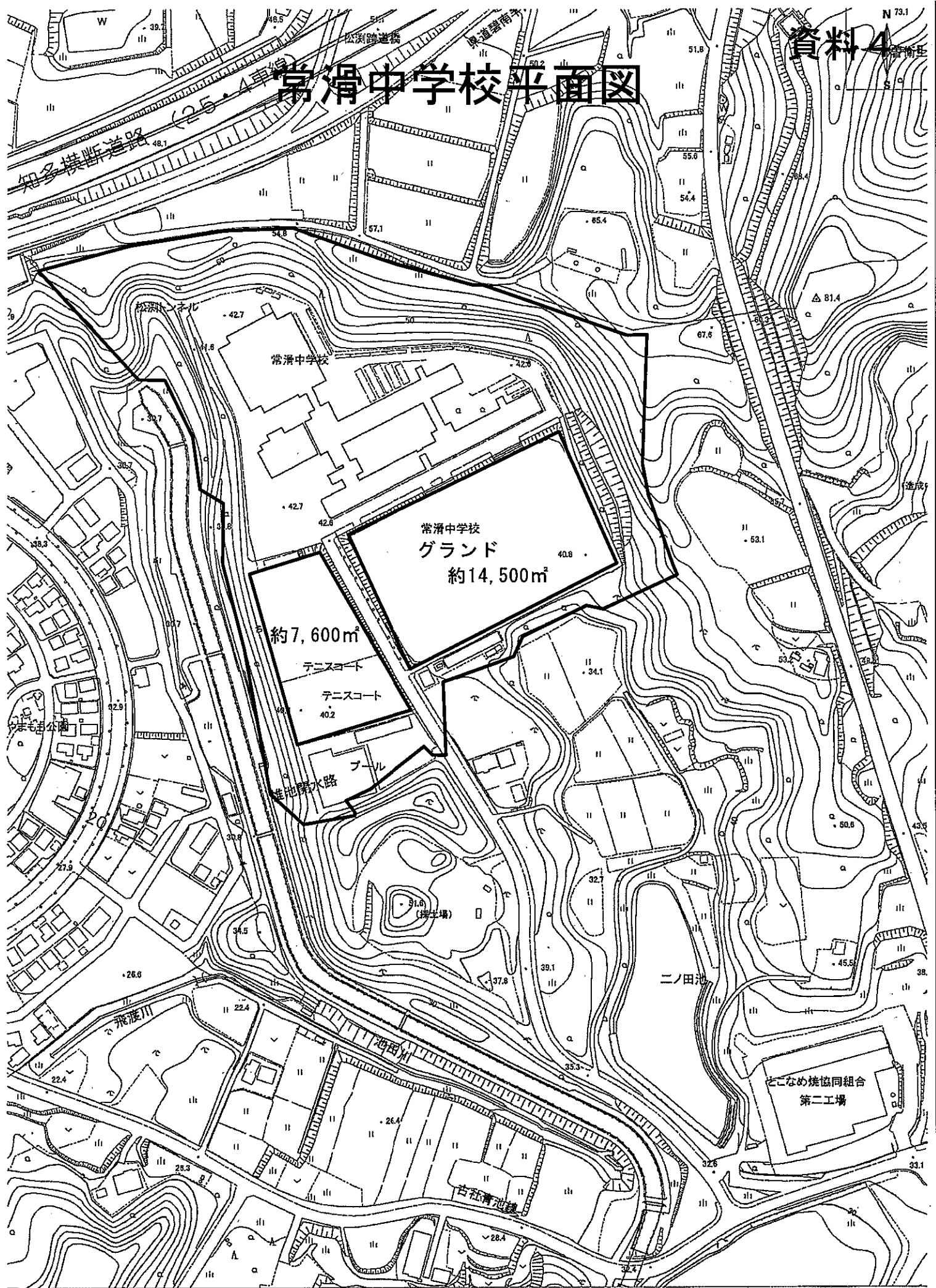
鬼崎地区

		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度	36年度	37年度	教室数
鬼北小	児童数	460	473	482	468	435	405	362	334	297	288	283	16(今年 度2教室 増築)
	学級数	16	17	18	17	16	15	14	14	13	13	13	
鬼南小	児童数	748	755	766	766	739	716	716	684	656	656	646	31
	学級数	25	26	27	27	27	26	26	24	23	23	23	
鬼崎中	生徒数	467	531	531	608	608	645	645	628	628	548	548	22
	学級数	16	17	17	18	19	20	21	20	20	18	18	

南陵地区

		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度	36年度	37年度	教室数
西北小	児童数	220	213	203	196	192	197	192	177	169	164	155	17
	学級数	10	10	9	8	8	8	8	8	8	8	8	
西南小	児童数	143	136	130	129	119	109	97	94	89	89	90	15
	学級数	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	
小鈴谷小	児童数	207	196	186	175	162	154	137	133	128	122	119	15
	学級数	9	9	8	8	8	8	8	8	8	8	8	
南陵中	生徒数	326	339	308	304	292	266	263	250	251	242	240	18
	学級数	12	13	11	11	11	11	10	10	11	10	9	

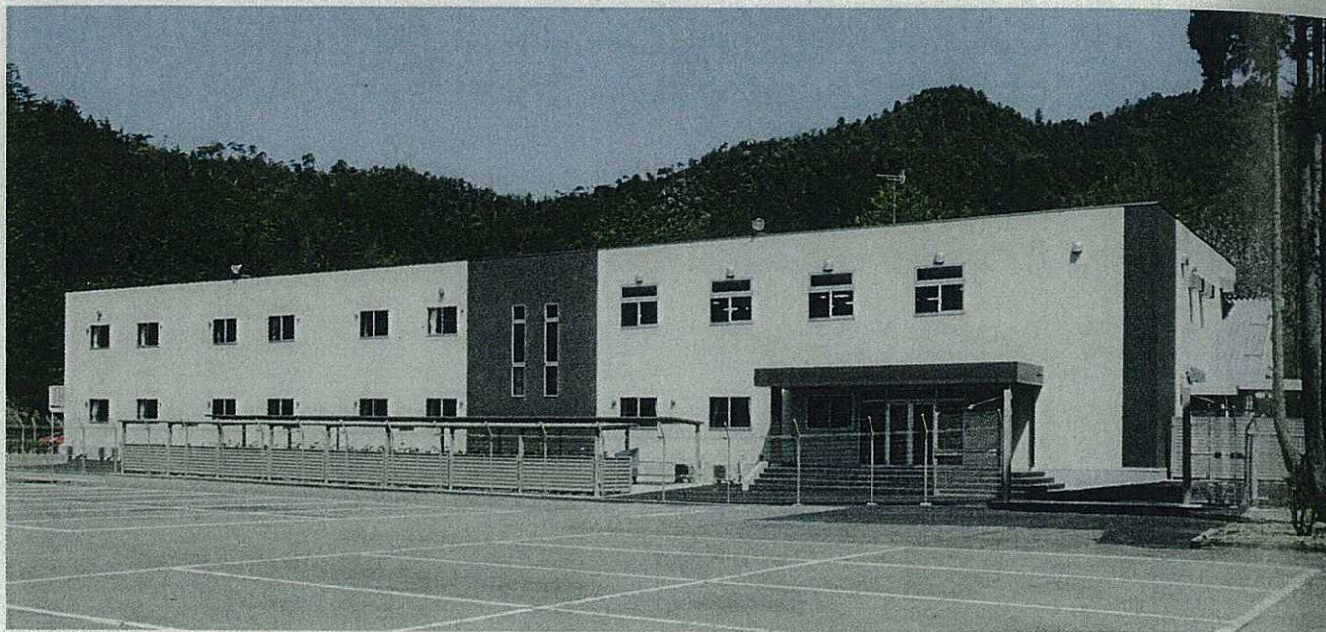
常滑中学校平面図



ダイワステップ

「準耐火建築物」仕様に対応。

重厚感のある外観が、事務所や教育施設に適しています。



学生寮

Advantage

「準耐火建築物」仕様に対応。

建物に使用する部材については、「準耐火建築物」として定められた性能・技術的基準をクリアしています。また、断熱材を標準仕様とし、冷暖房効率を高め、優れた居住性を実現しました。

工期が短く、経済性にも優れています。

プレハブ化のメリットを最大限に活かし、工期が短く、工場生産による品質の安定を図った商品です。経済的で耐震性にも優れています。

■標準仕様

(単位: mm)

構造	ブレース構造(妻側・桁側共) 軽量鉄骨造(準耐火建築物)
基礎	鉄筋コンクリート造布基礎
外壁	窯業系サイディングt=16 透湿防水シート 網鉄(鋼製枠組) 断熱材:グラスウールt=50(10kg/m ³ 品)内蔵 目地:変成シリコン系シーリング
屋根	ガルバリウム鋼板t=0.6 折板葺H=88 裏面:無機質高充填フォームt=4
建具	窓 / カラーアルミサッシ 引違い窓 2連排煙外倒し窓 硝子:透明t=3, t=4 硝子:型板 t=4 出入口/カラーアルミサッシ 両開き戸、引違い戸、片開き戸、 ランマ付両開き戸、ランマ付引違い戸 硝子(上部):透明t=3, t=5 型板t=4(片開き戸のみ)
床	1階床/下地:土間コンクリートt=100 ワイヤメッシュφ縦横150 防湿シート ポリエチレンフィルムt=0.15 碎石t=100 盛土 2階床/合板t=12 強化石膏ボードt=15 V-50型デッキプレートt=1.2
内壁	ビニルクロス貼 下地:石膏ボードt=12.5
天井	化粧石膏ボードt=9.5 最上階のみ グラスウールt=50(10kg/m ³ 品)敷込み

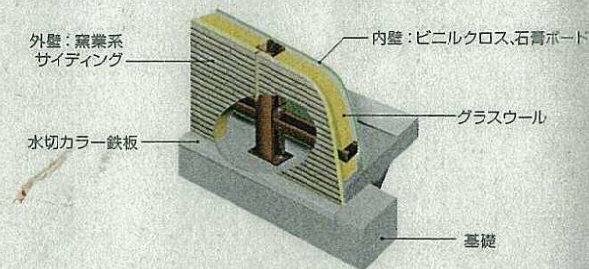
※寒冷・多雪地域においては仕様異なります。

※品質向上の為、本仕様は予告なく変更することがありますので、予めご了承ください。

■外壁材

オリジナリティーを活かす外壁パターン。
ご要望に合わせてご提案いたします。

たくさんの外壁材の中から選択できるので、お客様のニーズ・用途に合わせてオリジナリティーあふれる外観に仕上げられます。



※外壁材参考例